

(西暦) 2016年 10月 3日

セルフホームモニタリングの有用性評価

臨床研究に対するご協力をお願い

研究責任者 所属 循環器内科 職名 准教授
氏名 高月 誠司

実務責任者 所属 循環器内科 職名 特任助教
氏名 木村 雄弘

このたび当院では、循環器内科に入院・通院されている患者さんに、血圧計や脈拍計をお貸し出しし、ご家庭で測定したヘルスケアデータをクラウドシステムに保存して診療に利用する研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究にご協力いただける患者さんは、その旨、木村雄弘までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

1. 20歳以上のiPhoneをお持ちの循環器外来通院中の方
2. 家庭用測定機器の利用方法を理解し、適切に使用できる方

2 研究課題名

家庭用医療機器によるセルフモニタリングの有用性

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部内科学教室・慶應義塾大学病院循環器内科

4 本研究の意義、目的、方法

近年、ヘルスケアに対する関心が高まっています。様々なヘルスケア機器が国内で販売されており、これらを家庭で活用したデータを臨床情報として利用する意義は高いと考えられます。例えば、病院の血圧だけが低い、いわゆる白衣高血圧の方の家庭血圧測定は重要といわれています。本研究では脈拍計、血圧計などを病院が無償で貸与し、ご家庭でセルフモニタリングを行っていただくことの有用性を評価します。測定データは自動で保存され、病院側で閲覧できるため、今までの様に血圧手帳に記録する必要がなく、外来に手帳をお持ち頂く必要もなくなります。

5 協力をお願いする内容

お貸し出した機器(脈拍計、血圧計)をご家庭でご利用頂きます。測定されたデータは、iPhoneアプリケーションを通じてクラウドシステムに保存されます。収集されたデータの有用性を評価する

とともに、ご家庭でのセルフモニタリングの意義を評価します。

6 本研究の実施期間

西暦 2016年 10月 3日～ 2018年 8月 31日(予定)

7 プライバシーの保護について

- 1) クラウドサーバーで取り扱う個人情報は、iPhone アプリケーション "The diary"のプライバシーポリシーによって管理されます。詳細につきましては、事前に担当者より詳細にご説明させていただきます。
- 2) 我々が本研究で収集されたデータを取り扱う際には、個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものかわからないデータ(匿名化データ)として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報(連結情報)は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

木村雄弘

03-5843-6702

diary-group@keio.jp

以上